



第1章

族長たちとその時代の人々の祈り

イサク



Check!

- 『聖書の祈りが私の祈りになる』（旧約編） 66～69ページ
- 主な引用箇所 創世記26章21節、24～25節、マタイ18章19節

? 質問

- 1 イサクは父アブラハムからどのような影響を受け継いでいましたか？（66ページ参照）
- 2 イサクが神に喜ばれる祈りを捧げるという点において、どのようなすばらしい基盤を持っていましたか？それはどのような経験からですか？（67ページ参照）
- 3 「アタル」 というヘブル語には、祈りに関してどんな意味がありますか？（67ページ参照）
- 4 イサクは同じことを20年祈り続けていたようです。イサクの姿から、祈りについてどのような教訓を学ぶことができますか？（68ページ参照）あなたが継続して祈っているは何ですか？
- 5 「自分の妻のために」という表現からわかる祈りの原則は何ですか？（68～69ページ参照）あなたもこの原則を実践していますか？
- 6 イサクは思い巡らす瞑想の時を持っていました。あなたも定期的にそのような時間をもっていますか？



主よ。定期的にあなたを思いめぐらす時間を一日の中に持たせてください。継続的な祈りを問題解決の突破口にすることができますように。